



GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 212

2014/04/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

GREEN COLUMN

01. 豊岡地区にある遺跡

02. よみがえる美幌川 その2



今月の一枚



「美幌の遺跡探訪」

表紙写真・文／八重柏誠

写真は美幌町の柏ヶ丘運動公園の南側にひっそりと残るリンナイチャシです。このチャシは、過去にこの場所がスキーのジャンプ台として使われた際に壊されてしまったため、現在のものは壊される以前の様子を再現し、復元されたものとなっています。

もともとは、台地の上に更に土を盛った直径 15m 位の楕円状の小丘と、その西側に台地を南北に縦断した、大規模な壕があったようです。周辺で知られたチャシの中でも、非常に規模の大きなチャシであったと言われています。

Event. 今月のイベント

企画展「よみがえる！美幌川」 ～6月1日（日）

プチ工房「モザイクタイルのコースター」 4月10日（木）, 17日（木）

国際博物館の日 記念行事 4月27日（日） 無料開館

Information. 参加者募集

プチ工房 「モザイクタイルのコースター」

● 4/10（木）, 17（木） 10:00 - 12:00, 13:00 - 16:00 自由に入室。作品ができれば終了 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費（300 円） ●城坂結実（美幌博物館） ●申込み不要

国際博物館の日 記念行事

● 4/27（日） 10:00 - 12:00, 13:00 - 16:00 学芸員が各場所で随時解説を行います ●美幌博物館 ●企画展「よみがえる！美幌川」 展示解説, 世界の蝶 標本展示, アイヌ文化 DVD 放映, ミニ展示 豊岡地区の遺跡を予定

今月の休館日

● ●
7 日 , 14 日
21 日 , 28 日
30 日

〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用, 持ち物 ●講師 ●申込み方法

01 GREEN COLUMN グリーンコラム

豊岡地区にある 遺跡

写真・文／八重柏誠



美幌町豊岡地区は、美幌町の西側、北見市（旧端野町）との境にあり、標高 100 ～ 200m の緩やかな丘陵が広がる地域で、現在 13 カ所の遺跡が登録されています。この豊岡地区では、地区の中央を流れる木禽川と、その支流となる小さな沢があるくらいで、大きな川は流れていません。遺跡は、木禽川や小さな沢の近くの緩やかな丘陵上に、点々と立地しています。この遺跡に行って周りを眺めると、のどかな雰囲気を感じます。市街地から離れた、見渡すかぎり緩やかな丘陵地帯だからでしょうか。

豊岡地区の遺跡で、どのような時代の遺構・遺物が確認されているのでしょうか。ここでは過去に、畑の均平工事に伴って緊急発掘調査が行われています。その際に出土した遺物を見ていくと、時代の古いものでは豊岡 7 遺跡から出土した、旧石器時代のものが

知られています。忍路子型細石刃核を中心とした石器群です。忍路子型細石刃核は、元町地区や美禽地区の遺跡からも出土していることから、同じ石器製作技術を持った集団が、各遺跡を移動していった痕跡なのかもしれません。

縄文時代のもものでは、中期末から後期初頭の北筒式土器を中心に出土しており、竪穴式住居跡なども確認されています。陽当たりの良い丘陵上に、小さな集落が立地していたようです。写真は豊岡 4 遺跡で見つかった住居跡の調査の様子です。

常設展示を行っていないため、なかなか目にすることのない豊岡地区の遺跡ですが、4 月 27 日の「国際博物館の日」にはミニ展示を行います。普段は見ることのできない豊岡地区の土器や石器を、ぜひご覧下さい。

02 GREEN COLUMN グリーンコラム

よみがえる 美幌川 その2

文／町田善康



前回のグリーンレターに引き続き、3月から始まった企画展についてご紹介します。今回の展示会では、ウチダザリガニの防除や、手作り魚道の活動など、これまで博物館と地域の皆さんが一緒に行ってきた美幌川の自然を取り戻す活動について取り上げました。

その中では、明治時代から現代までの地図を紹介し、美幌川がどのような移り変わりをしてきたのか見ていただくことができます。様々な時代の地図は、美幌川の自然を取り戻すにあたって、貴重な情報を私たちに提供してくれています。

明治時代の美幌川は、右へ左へと大きく蛇行していました。川の周辺には湿地が広がり、ほとんど人の手が入っていない原始の川がそこにありました。(図を見て下さい：北海道仮製 1:50,000 図「美幌」 陸地測量部(明

治 30 年製版))。大正時代に入ると、下流域を中心に市街地や田んぼができました。昭和時代、さらに市街地が発達し、それにともなって川の流れの直線化が進みました。地図に目を凝らせば、それぞれの時代の美幌川の姿がよくわかります。

そして現在、広大な平地を流れる美幌川は、治水や農地開発によって直線化され、コンクリートで固められてしまいました。しかし、一方で、美幌川がもたらす肥沃な大地は、私たちに豊かな生産の場を提供しています。自然を守り、豊かな生活を続けるため、展示会を通して皆さんと一緒にふるさと美幌川について考えてゆければ幸いです。

平成 26 年度の自然・歴史講座,モノ作り講座,プチ工房の日程が決まりました！

ホームページで、日程表をご覧ください。

今年度も、みなさんのご参加をお待ちしております。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253-4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/museum/index.html>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



毎度のことながら、無事に展示会を開催することができるとホッとします。そして、お客様が楽しそうに見てくれると、うれしくてたまりません。この姿を見ると、「次も頑張ろう！」。そう思います。（町田）